

岬町住民意識調査結果報告書（概要版）

I 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、第5次総合計画策定の基礎資料とするため、住民を対象にアンケート調査を行い、町の現状や将来のまちづくりに対する意識やニーズを把握することを目的とする。

(2) 調査の設計

調査対象地域	岬町全域
調査対象	岬町在住の16歳以上の住民1,004人
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時期	令和元年9月27日（金）～令和元年10月15日（火）

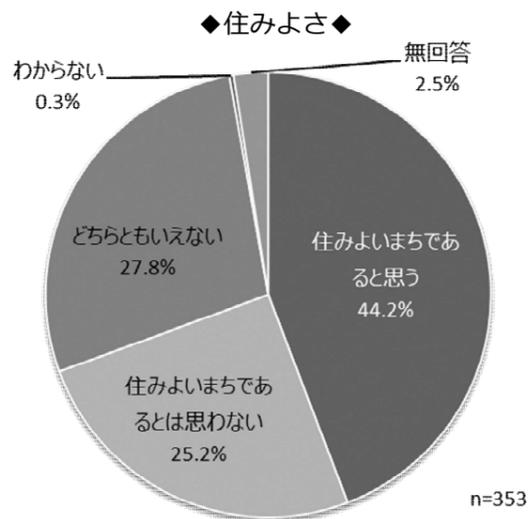
(3) 回収結果

配布数	1,004件
回収数	353件
回収率	35.1%

II 岬町の印象

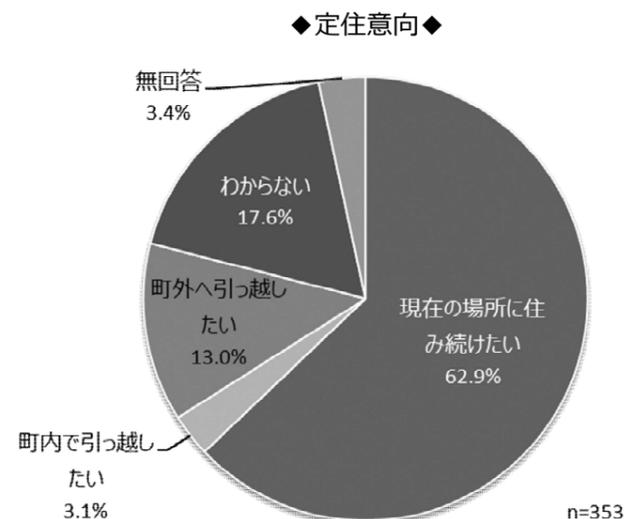
(1) 住みよさについて

「住みよいまちであると思う」が44.2%で最も多い。



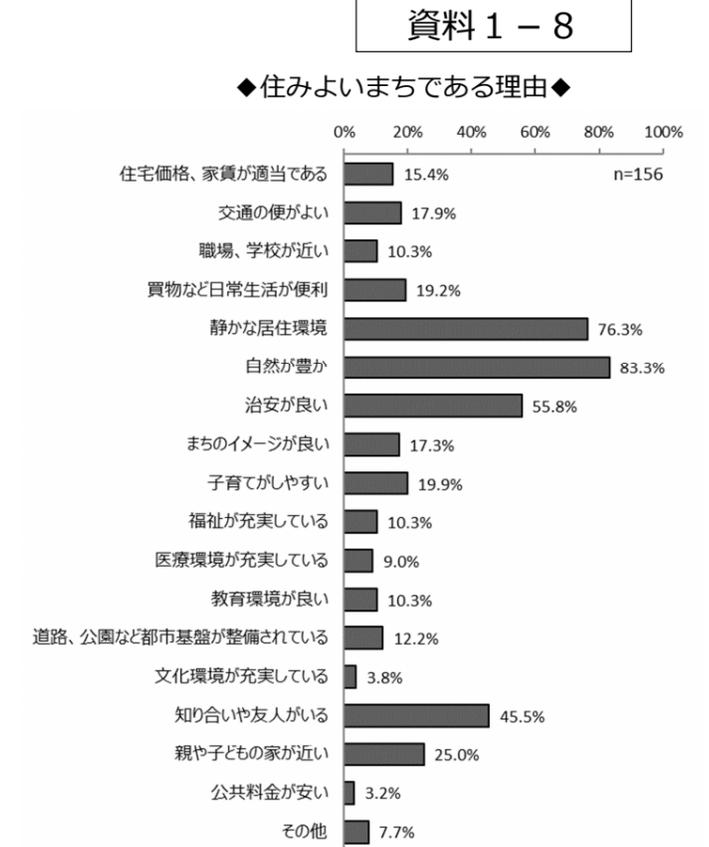
(2) 定住意向について

「現在の場所に住み続けたい」が62.9%で最も多い。「町内で引っ越したい」を合わせた66.0%が町内での定住を考えている。



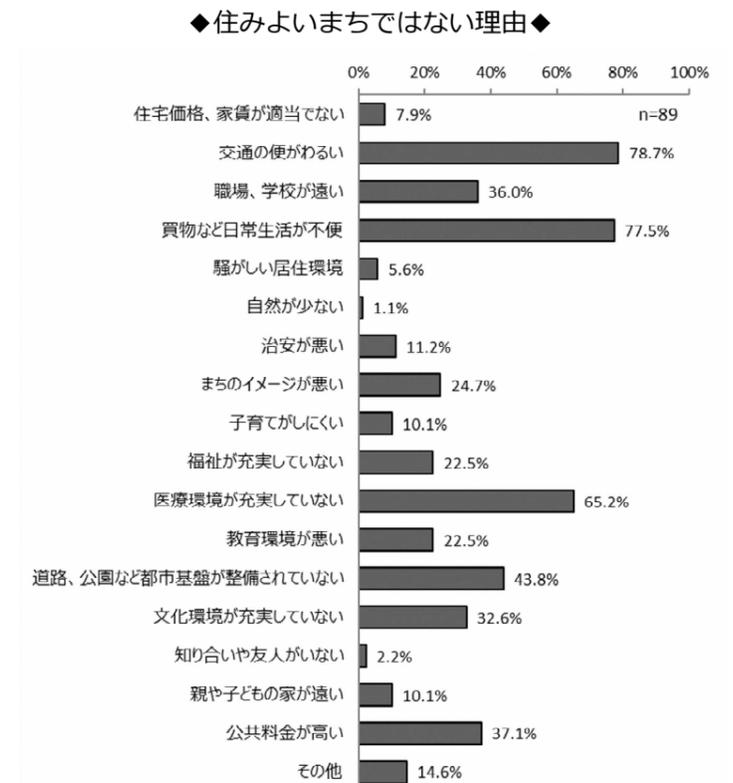
(3) 住みよいまちである理由

住みよいまちである理由は、「自然が豊か」が83.3%で最も多い。次いで「静かな居住環境」が76.3%、「治安が良い」が55.8%で続いている。



(4) 住みよいまちではない理由

住みよいまちではない理由は、「交通の便がわるい」が78.7%で最も多い。次いで「買物など日常生活が不便」が77.5%、「医療機関が充実していない」が65.2%で続いている。



Ⅲ 岬町が取り組んでいる施策についての満足度・重要度

(1) 満足度

「満足」と「やや満足」の合計の『満足度』は「消防・救急体制の充実」が最も高く、40.8%となっている。次いで「健康づくりの推進」が37.9%、「道路網の整備」が35.7%で続いている。

(2) 重要度

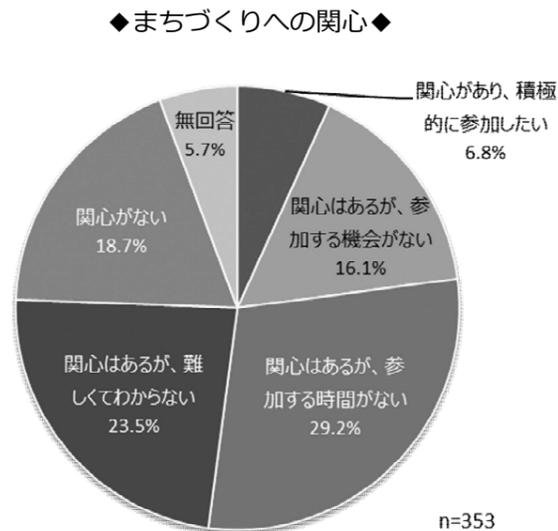
「重要」と「まあ重要」の合計の『重要度』は「防災対策の推進」が最も高く、84.1%となっている。次いで、「消防・救急体制の充実」が83.8%、「地域保健・医療の推進」が82.7%で続いている。

	満足度の高い項目		重要度の高い項目	
1	消防・救急体制の充実	40.8%	防災対策の推進	84.1%
2	健康づくりの推進	37.9%	消防・救急体制の充実	83.8%
3	道路網の整備	35.7%	地域保健・医療の推進	82.7%
4	下水道の整備	34.6%	防犯対策の促進	82.2%
5	生活環境の充実	34.2%	交通安全対策の推進	79.9%
			下水道の整備	(同率)

Ⅳ 住民参加のまちづくりについて

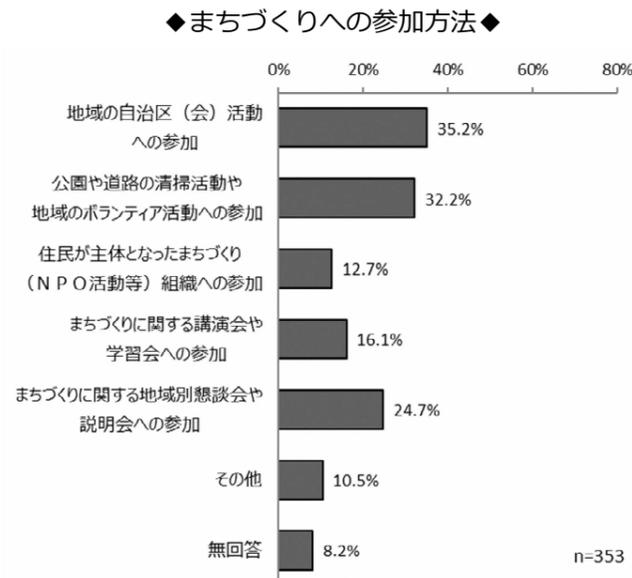
(1) まちづくりへの関心

「関心はあるが、参加する時間がない」が29.2%で最も多い。全体の7割以上がまちづくりに関心を持っている。



(2) まちづくりへの参加方法

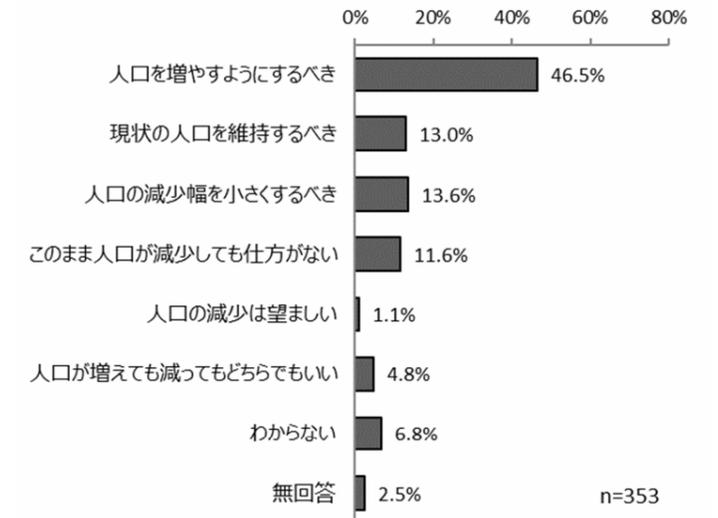
「地域の自治区（会）活動への参加」が35.2%で最も多い。次いで「公園や道路の清掃活動や地域のボランティア活動への参加」が32.2%で続いている。



Ⅴ まちの人口減少・少子高齢化について

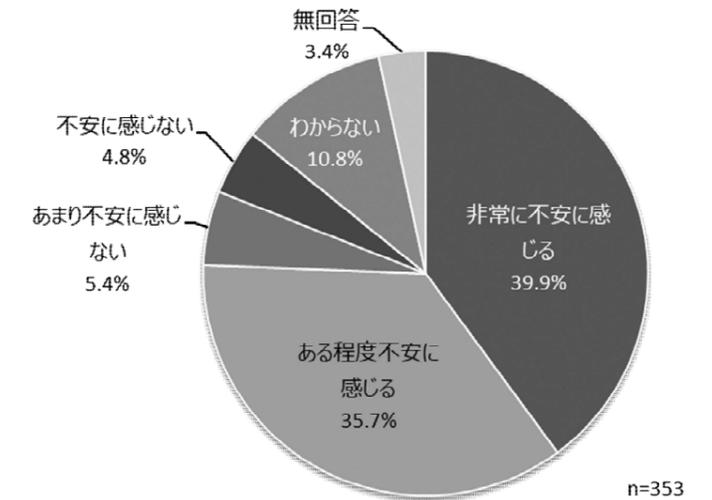
(1) 岬町の将来の人口について

「人口を増やすようにすべき」が46.5%で最も多い。次いで「人口の減少幅を小さくするべき」が13.6%、「現在の人口を維持するべき」が13.0%で続いている。



(2) 人口減少と少子高齢化が進むことについて

「非常に不安を感じる」が39.9%で最も多い。次いで「ある程度不安を感じる」が35.7%で続いている。



(3) 町の取り組みで最も重視することについて

「産業を振興し、安定した雇用を創出する取り組み」が32.6%で最も多い。次いで「地域の資源を活かした人の流れ」、「安全で安心して地域で暮らせる地域づくりの取り組み」が15.3%で続いている。

